

## 平成25年活動実績成果

### 1) 臨床研究（平成26年1月6日現在）

試験名：「造血幹細胞移植後アデノウイルス感染症に対するシドフォビル投与の臨床試験」

目標症例数：10例

登録症例数：1例

登録期間：3年間（平成25年6月1日～平成28年5月31日）

試験名：「菌状息肉症／Sezary症候群に対する同種移植後における早期再発予防としてのVorinostat療法」

目標症例数：6例

登録症例数：2例

登録期間：2年間（2013年6月1日～2015年5月31日）

試験名：「フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病(Ph+ALL)における、自家末梢血幹細胞移植とチロシンキナーゼ阻害剤(TKI)での維持療法の安全性について検討する多施設臨床試験」

目標症例数：5例

登録症例数：0例

登録期間：3年間（2013年6月17日～2016年3月31日）

試験名：「移植後大量シクロフォスファミドを用いた血縁者間HLA半合致移植の安全性と有効性の検討」

2013年5月よりJSCT研究会の全国多施設共同臨床試験（JSCT-Haplo13）

目標症例数：21例

登録症例数：15例

登録期間：2年間（2013年5月1日～2015年4月30日）

試験名：「抗ヒト胸腺細胞免疫グロブリンを用いた同種末梢血幹細胞移植療法の多施設共同パイロット試験」

目標症例数：6例

登録症例数：1例

登録期間：2年間（2013年11月1日～2015年11月30日）

## 2) 基礎研究

Analysis of genetic status of AML patients with both NPM1 and CEBPA mutations ;

第75回日本血液学会総会で発表（保健学科4年 明石晶深、優秀ポスター演題受賞）

## 3) 学術講演会

2013年5月20日 北大環境医学分野教室 若尾 宏 先生による講演

北海道大学医学研究科で

社会医学専攻・予防医学講座環境医学分野 准教授若尾 宏 先生

による講演が開催されました。

2013年6月1日 リンパ腫 セミナー in 北海道

グループ・ネクサスとの共催で、患者さんやご家族、リンパ腫に関心のある方を対象に「リンパ腫 セミナー in 北海道～リンパ腫に対するエビデンスと新規治療法の展望」を開催しました。





北大医学部臨床大講堂に多くの方が集まりました

2013年6月14日 Professor Michael Andreeffによる特別講演

北海道大学医学研究科特別会議室で、The University of Texas MD Anderson Cancer Center の Professor Michael Andreeff による特別講演が開催されました。

2013年9月14日 1st Meeting of Japan-Australia Hematology Consortium

2013年9月14日 『1st Meeting of Japan-Australia Hematology Consortium』が開催されました。



Prof. Geoffrey Hill, M.D.



Prof. Pavan Reddy, M. D.



Dr. Kelli MacDonald, Ph. D.



集合写真

2013年10月25日 北日本血液研究会学術講演会

2013年10月25日『北日本血液研究会学術講演会』が開催されました。

『マイクロRNA126\*の高発現は急性骨髄性白血病の予後不良因子である』

北海道大学大学院薬学研究院 臨床薬学教育研究センター

准教授 柴山 良彦 先生

『急性骨髄性白血病の遺伝子変異に基づいた治療戦略』

北海道大学大学院医学研究科 血液内科学分野

講師 近藤 健 先生

**特別講演**

『新しい細胞療法を目指して

—東京女子医科大学血液内科の現状と将来—』

東京女子医科大学血液内科学講座 主任教授 田中 淳司 先生